

安心して集える交流の場  
『認知症カフェ』に参加しよう！

エンゼルオレンジカフェ

問い合わせ  
エンゼルの丘 ☎546 - 1200  
とき 12月5日(木) 午前10時～11時30分  
ところ つばさ保育園  
参加料 無料

あねとすオレンジカフェ

問い合わせ  
あねとすデイサービストレーニングセンター  
(☎577 - 3483)  
とき 12月8日(日) 午前10時～正午  
ところ あねとすデイサービストレーニングセンター  
参加料 100円

オレンジカフェ東都 (入退室自由)

問い合わせ  
介護サポーターズ深谷・森田さん ☎571 - 0757  
長寿福祉課 ☎574 - 8544  
とき 12月12日(木) 午後1時30分～3時30分  
ところ 東都大学  
参加料 100円

認知症に関しては、  
随時地域包括支援センターでご相談いただけます。

むさし愛光園オレンジカフェ

問い合わせ  
むさし愛光園 ☎551 - 5511  
とき 12月14日(土) 午前10時～正午  
ところ むさし愛光園  
参加料 無料

ふじさわ苑オレンジカフェ

問い合わせ  
ふじさわ苑 ☎571 - 1234  
とき 12月15日(日) 午前10時～正午  
ところ デイサービスセンターふじさわ苑  
参加料 100円

カフェ・オレンジヴィラ

問い合わせ  
フラワーヴィラ ☎584 - 5550  
とき 12月18日(水) 午前10時～午後1時  
ところ デイサービスセンターかぐや姫  
参加料 無料 (昼食を希望する場合は350円)

なごみオレンジカフェ

問い合わせ  
医師会なごみ ☎577 - 5371  
とき 12月27日(金) 午前10時～11時30分  
ところ 老人保健施設FOMA・なごみ  
参加料 100円

家族の介護で悩みを持つ人たちの交流の場

介護者のつどい

問い合わせ 介護サポーターズ深谷・森田さん ☎571 - 0757  
とき 12月21日(土) 午後1時30分～3時30分  
ところ コープみらいプラザ深谷

食育講演会

『免疫力アップ講座～体の中から整える～』

問い合わせ 保健センター ☎575 - 1101  
とき 12月20日(金) 午後1時30分～2時30分  
ところ 上柴公民館  
講師 根本諒氏 (大塚製薬株)  
定員 先着100人  
申し込み 12月5日(木) 午前9時から電話で問い合わせ先へ



12月3日(火)～9日(月)は障害者週間です

問い合わせ 障害福祉課 ☎571 - 1011

障害の有無にかかわらず、だれもが相互に人格と個性を尊重し、支え合う共生社会の実現を目指す週間です。障害者の自立および社会参加を促進し、住み慣れた地域で豊かに安心して暮らすことができる環境づくりに、ご協力をお願いします。

障害に関する各種相談などは以下の窓口へ

障害者やその保護者などへの各種相談、情報提供、権利擁護のために必要な援助を行っています。お困りのときはご相談ください。

【深谷市障害者基幹相談支援センターうらら】

(☎551 - 8777・境168 - 1)  
対象 知的障害者、身体障害者、精神障害者、難病患者  
相談時間 月～土曜日 午前9時～午後6時

【相談支援センター Yeast】(療育相談)

(☎577 - 3540・山河1054 - 1ハイム松島1階)  
対象 発達障害などの障害のある児童  
相談時間 月～金曜日 午前9時～午後5時

【地域生活支援センター向陽】

(☎599 - 2020・熊谷市石原519 - 5)  
対象 精神障害者  
相談時間 月～土曜日 窓口=午前9時～午後5時  
電話=午前9時～午後7時

【深谷市障害者虐待防止センター(基幹相談支援センターうらら)】

(☎070 - 3666 - 1199・境168 - 1)  
虐待に関する通報や相談を受け付けています。  
対象 知的障害者、身体障害者、精神障害者、難病患者  
相談時間 年中無休・24時間受け付け

出張相談(要予約) 毎週木曜日

午後1時30分～4時30分・  
掃部寮(深谷城址公園内)



その他一般的な相談は、市障害福祉課(☎571 - 1011)まで

聞こえないって、どういうこと?

問い合わせ 障害福祉課 ☎571 - 1011・☎574 - 6667

手話というと『聞こえない人』を思い浮かべますが、ここでは生まれつき『聞こえない人』についてお話ししたいと思います。

幼少期、『聞こえる子どもたち』は、周囲の音声を聞いて自然に言葉を覚えます。それが『日本語』や『英語』などで、それを幼稚園や小学校でしっかりと身につけるように学習します。

『聞こえない子どもたち』は周囲の音声を聞いて言葉を覚えることができません。家族に『聞こえない人』がいれば『手話』を目で見て自然に覚えることができます。しかし、『手話』を見る機会がなければ、『聞こえる子どもたち』と同じように言葉を覚えることは難しいのです。そして、ろう学校に入っても『手話』を身につける学習の時間はありません。『国語』の授業はあっても『手話』の授業はないのです。しかし、『聞こえない人』『聞こえない子どもたち』が自分の言いたいことを発言し、いろいろなことを思考するためには『日本語』ではない『手話』が大切なのです。

『手話』という静かな会話の世界をのぞいてみませんか?音のない世界でも、お互いが目を見て楽しく会話ができます。みなさんの知らない、『手話』に関するいろいろな歴史を知ることでもできます。

市内には手話サークルや手話講習会があります。少しでも興味のあるかたはお問い合わせください。



「おはよう」



「こんにちは」



「こんばんは」



「令和」

※市では、『手話講習会』を毎年4月から開催しています。

日程や申し込み方法など詳しくは『広報ふかや3月号』でお知らせする予定です。